



神奈川教育時報 (年三十九百五千二紀皇)

購読料 廣告料 發行所 印刷所

購読料 廣告料 發行所 印刷所 編集者 印刷所

綠蔭漫語 (二)

奥の荒海

箱根山に入るに初音ヶ原といふところを過ぎ、枯れたる杉の群...

うるほひ

「物のあはれを知る」と云ふ言が、此の社會にしても、又は個人にして、うるほひと云ふものが...

庚子道の記

二日は關を越ゆとて、夜深く宿を立ちて、星の光や、白毛の神、伊豆の國府に着く。三島の神の御社の前に暫し憩ふ程、女はさ...

夏季休業の児童のための體育施設

夏季休業に児童を如何に學弱兒の體質改造の上に、あるべきか、如何に遊ばしむべきか...

學校ニ於ケル保險及保護施設ニ關スル

學校ニ於テ夏季休業等ヲ利用シ生徒児童ニ對シ各種ノ保健施設ヲ實施スルモ...

夏季體育施設の目的は、一般的に児童の健康保持するに在り...

夏季體育施設の目的は、一般的に児童の健康保持するに在り、是れは勿論であるが、殊に虚弱兒の保健を中心に此種施設を進めることが意義深い...



# 第二回全關東

## 中等學校雄辯大會 (二)

主催 神奈川縣師範學校

### 五、我が農村の使命と改善

專修中學 木村貞雄君

農村生活とは何ぞ！即ち農村生活の意識より説き起し、農村生活の總べてを擧げ、小作争議の解決案に論究し、現時の農村青年の自覺を促し、農村そのものに對し憧憬の態度を養はなければならぬ。

### 六、眞の幸福

日大第四商業 表廣 義君

世の中に誰か幸福を求めぬ者があらうか。然し何が眞の幸福なるか、或人は「金さへあれば幸福だ」と、言つてゐるが、それは眞の幸福でない。我々は眞の幸福を求めねばならぬ。物質の幸福は眞の幸福とは言へない。我々は眞の幸福は何なるかをよく研究してそれを求むべく奮闘せねばならぬ。

### 七、魂にひそむ祖國熱愛の眞心

鎌倉中學 堀内清光君

彼の伊太利國に於いて祖國から見離された者共は、今後如何に行動を取るべきかについて或る場所に集まつて論議した時、將に夕日が靜かに没せんとするその莊嚴の姿を眺め、思はず「祖國伊太利」と叫んだとの事である。斯くの如く祖國愛は絶對的のものであらうか。特に我が日本國民の祖國愛は伊太利のそれの比ではない。全國民に此の祖國愛は燃えてゐるのである。我々青年は眞心より祖國の隆昌を祈らねばならぬ。

### 八、産業組合の再認識

平塚農業學校 石塚軍次君

産業組合は明治三十年に出来たもので、随分早く生まれ

たものであるが、今日に到つて、なほその發達は遅々たる態度である。誠に遺憾に思ふ組合のよりよき發達に對して一段の力を用ひなければならぬ。

### 九、嗚呼偉大なるかな日本精神

淺野中學 力石修作君

日本は聯盟を脱退した。世界の孤立になつた。然し何ぞ恐るゝには足らぬ。我々は正義人道の旗を振りかざして正々堂々と進むべきである。日本精神の向ふ所世界に敵な

### 十、労働協調について

日大商業 渡邊寛一君

現今日本は政治、經濟、外交、の上にて一大轉換期に迫られて居る。これより労働問題に論及し、最後に労働協調にせしめたのである。

### 十一、日本民族精神の奔流

淺野綜合 川上祐之君

日本人は一概に熱し易くさめ易いと云はれて居るが、決してさうではないのです。何故なら日本民族精神がその歴史に於て、そんな言は肯定して居るからである。即ち、天照大神が岩戸から御出になつた時の光と、神武天皇の御東征の思想との二つが、我々の心に深くしみ込んで居るのである。この日本精神は時には火となり、水となり、或は鬼

### 十二、建國の大精神

東京府六中 田中義之助君

現代の流行歌を考へて見る時に、そこには如何に頹敗的氣分に満ちて居るかを知らしめる。されば吾々は流行歌の頹敗的のもの、亡國的歌のものと排斥すべきである。

### 十三、青年各人に訴ふ

世田ヶ谷中學 鈴木克巳君

現代は、黄金萬能の時代である。金銭上の問題からして肉身の争ひ、友人の争ひを來し、金の魔力は社會を腐敗せしめてゐる。或程度までの黄金蓄積は絶対必要であるが、

### 十四、平和の本道を示す

商工實習 鈴木辰夫君

現代我國は種々の國難に際してある。經濟の恐慌、資本主義の危機、三千萬の數に上る失業者があつた。吾々はこの根本問題を研究せねばならぬ。

### 十五、私の信念

横濱二中 榊原春三君

「まことの心」これを根本とした道が人間の最も理想の道である。他人の幸福を祈る事は苦しむが故に、我々の心に躍如として漲り溢る。希望に燃えて日本國の建設に進まねばならぬ。この國難を打開するものは傳統的精神と世界平和主義を抱いた青年に依らなければならぬ。立て諸君。

### 十六、祖國日本青年に告ぐ

日大四中 中谷一郎君

我等の理想は何かそは王道を以て榮ゆる建國の歴史である。皇統連綿二千五百有餘年の我國はその間に於ける我が國民の思想は、中途に盛衰はあれども皇室中心主義であつた。そして此の思想は日清日露の二大戦役を過ぎ新興日本

となり、神となつて現はれたが、その裏にひそむ日本精神の奔流は不變だつたのである。廣瀨武夫の戦死も、爆彈三勇士の戦死も日本精神の發揚ならすや。俯しては彼の東海の濱の如く、仰ぎては彼の芙蓉の如き日本精神を高らかに讚美しようではないか。

### 十三、亡國の流行歌を排撃せよ！

三浦中學 砂原政雄君

一大警鐘亂打の光景である。吾々は建國の大精神を振りかざして思想統一に努め、世に導かねばならぬのである。

### 女教員隨録

「教育時報」が、本縣教育界に於ける唯一の言論機關として、社會の木鐸として自ら高を持して嚴正批判の聖壇を冒さないまでも、嚴然として社會の一角に聳立つ吾人教育者の一團それが懷抱するその思想、その計圖、その意氣、その情感をば何等の遠慮なく、何物にも憚りなく、遺憾なき迄に公表せよと謂ふのが本紙の一大使命である。

然るに三百年來徳川の専制に羈束されてきた情勢は女性に對し徒らなる確伏忍従を以つて人に對する女性の最高美德となりとの誤認をのこし、官民尊卑老幼男女の相互意思の交通がなければ何事も行はれ得べきでないといふことに徹底した認識を今猶缺いてゐる。是上からの條文煩瑣なればなるほどその實蹟は却つて遅々として揮はざるの由つて來る證左である。女だからと社會の精素である、確かに女は社會の反面である、人は正面の交渉のみを知つて、反面の事實に無關心であり無知である處に、お役人も、同僚も、支配者も、統御者も自らの盲目さ加減を不意に曝露させられるのである。

### 十七、正しく生き

豊島師範 佐藤勝能君

正しく生きるために正しい信念を有すべきである。亦宗教による正しい生活の指導が必要である。現在の宗教は我々に迫るものがない。古人は宗教のたぐひに生命を捨て、現代の宗教は熱烈なる信仰がない。現代の宗教は正しく我々を導く力が乏しい。我々は世界の荒波に立ち、自ら解決せねばならぬ。我々が悩み、苦しむのは本當の生活である。我々の前に横たはる障礙物がいかなる時も排して進まねばならぬ。而して死する時、自分の一生は全く正しかつたと回顧される時眞の幸福たり得たのである。

### 十八、此の秋に際して

横濱商業 堀内忠君

世界を吹きまくる不況の嵐は世界人類をして極度に不安を起させた。極東に於ては彼滿洲問題が勃發した。さなきだに恐慌の日本は今や非常時の到來の聲は高いのである。我が外交をかへり見た時、國際聯盟に於ては、四二對一を以て日本の意見は否定された。そして終に聯盟脱退となつた。非常時日本孤立日本。この觀念は私の腦裏に深く刻まれてゐるのである。而も日本は米露二大國の間にあり滿洲事變は如何なる結果になりゆくやも知れず。支那は叛亂常なく第二のバルカンと稱せられてゐる。四方八面危急存亡の日本は、何にして救ふか。彼の日露戦役を考へる時は理論的に考へる事は出来ぬ。祖國愛は燃えてゐるのである。我々青年は眞心より祖國の隆昌を祈らねばならぬ。

### 十九、建國の大精神

東京府六中 田中義之助君

現代の流行歌を考へて見る時に、そこには如何に頹敗的氣分に満ちて居るかを知らしめる。されば吾々は流行歌の頹敗的のもの、亡國的歌のものと排斥すべきである。

### 二十、青年各人に訴ふ

世田ヶ谷中學 鈴木克巳君

現代は、黄金萬能の時代である。金銭上の問題からして肉身の争ひ、友人の争ひを來し、金の魔力は社會を腐敗せしめてゐる。或程度までの黄金蓄積は絶対必要であるが、

### 二十一、平和の本道を示す

商工實習 鈴木辰夫君

現代我國は種々の國難に際してある。經濟の恐慌、資本主義の危機、三千萬の數に上る失業者があつた。吾々はこの根本問題を研究せねばならぬ。

### 二十二、私の信念

横濱二中 榊原春三君

「まことの心」これを根本とした道が人間の最も理想の道である。他人の幸福を祈る事は苦しむが故に、我々の心に躍如として漲り溢る。希望に燃えて日本國の建設に進まねばならぬ。この國難を打開するものは傳統的精神と世界平和主義を抱いた青年に依らなければならぬ。立て諸君。

### 二十三、祖國日本青年に告ぐ

日大四中 中谷一郎君

我等の理想は何かそは王道を以て榮ゆる建國の歴史である。皇統連綿二千五百有餘年の我國はその間に於ける我が國民の思想は、中途に盛衰はあれども皇室中心主義であつた。そして此の思想は日清日露の二大戦役を過ぎ新興日本



# 夏季體育施設 兒童保養所巡り

## 一、大津の臨海保養園

正門を跨ぐと、大きな立札に芝園臨海保養園訪問者は正面右側入口へがすぐ眼につく、こゝは三浦郡大津小學校である、記者が來意を告げれば、直ちに海へと引返した。砂濱に立つて海を見渡すと、今しも青赤ととりん、の色西瓜の群が波の上で嬉々として歡聲をあげてゐる最中である。眼前に浮かぶ一小島は、磯島か笠島か遙かの沖合に汽船の黒煙が二條靜かに風にゆれてゐる、折しも雁行して來る銀翼の爆撃機に軍港近い雰圍氣は一入こまやかになる。

## 二、走水の東京府夏季兒童保養所

二つの隧道を開放された所から走水の風致區域である。橋樹よく密茂した所で、明るい緑陰の路一杯に投げられた海岸道が赤水へと、自動車は走る。

監督の渡邊主事は語る、この保養園も今年で十三回大津へは大正十四年以來のことである、芝園内二十校の虚弱兒童で大部分が五、六年で短期組は一週間、長期組は二週間交代してゐるとのこと、現在はその長期組一三七名だ。

朝五時半起床、六時から宮城遙拜、兩親への挨拶、海濱體操、七時朝食、學科、夜になれば映畫會、學藝會など色々な催がある、楽しい所でも矢張り子供で数日たれば家が戀しくなつて歸りたがる者もあらうといふことである。

主事の話は大變はづむ、休憩所へ導かれてから東京市の木保技師に紹介される、記者の間に答へて木保さんはボツリ／＼語られる體も癒えます、しかし一週間目位は減るの普通で二週間目位からは癒えるんですがそれも餘り判然しないのが本當でせう、それがハツキリしたとすれば怪しいんぢや無いかつて。

それから兒童は水浴を數回繰返した陸に上つては、足趾甲羅干角力とかうして適度の疲労と空腹とを覚えさせられた。

身體の温度は何度位ですかといふ様な揭示が玄關に立つ者をしつてまづ奇異に感ぜしめる、これら兒童は府全管區から集められてゐるが最も多いのが荒川区の四十名を筆頭に浦田區の十七名、次が品川區大森區の七名などである。總員九十九名中男兒が五十名である。これを四組に分つて青山師範の先生、醫員衛生婦の方々が訓育に努めてゐられる。

丁度午睡の時間であつたが受持の先生から「サアよく眠るんだ」と命令一下喧騒は忽ちやむもの、中々寝つかれ相にない、先生の話に「中々睡りません運動を少しセーブしてゐる爲もあるかと思ひます」

「そして身體の方は大變順調に進んでゐます、食事など最近少々驚いてゐる位です」「しかし學業はどちらかと言へば思はずはくはないですね」

## 三、本牧臨海保養所

市の開設になる二箇所の臨海保養所の一は本牧海岸に在る、本牧停留所を下りて左へと濱に出れば海から吹き上げてるる海風にみちた朝風に、武者立ちした幾つもの旗、帆のハタ／＼と碧空にはためき渡る海水、静寂ではあるが何處となく清い朗かな賑やかさが味はれる。

入口を中央にした霞張の薄べりの敷きつめられた左右兩翼の長大の小屋の中では今も男女に別れての體操最中である。水着に赤の鉢巻をした小児童共の細い數百の小脛が一樣に屈伸するのはなにかの器械の如くにみえる。

九人である、長野主任の説明に兒童は市内四十五校に亘り、青木、藤田、栗田谷、戸部など兒童數の最も多い方で、本年の申込人員は約七百七名位であつたが、その中から虚弱兒を送つて、大抵は尋常科から六年まで、中には小學時代から交へてゐる、これは小學時代からつづつての仙石の保養所で夏を過して来た舊馴染であるとか、メンバーの員數は濱濱市を一番に、横須賀、川崎、平塚、小田原と云ふ順である相な。

器具其他醫療設備は赤十字社支部の主催で流石に行届いたものだ、それに今井學校衛生技師が醫療を擔任して起床から就寢まで

看護に手ぬかりなく校長の中村さん、清水さん、其他擔任の諸先生が、讀書の暇なき迄熱心周到な保護のため安心なものである。教養方針は

1 身體の養護を重視し體力の向上を圖ること  
2 團體的訓練をして共同生活になれさせること  
3 自治生活の指導をなすこと  
4 衛生に關する良習慣を養はせること  
5 團體的に規律節制を守らせること

如上の方針で、徳、體育と、環境教育、等が盛りこまれてある、やがて運動會が終つてから、晝飯には兒童達と一緒に御自慢の榮養料理を御馳走になる、今日の献立は六月十五日(火曜日)

朝食  
味汁汁附合  
赤味噌四〇、若目五、煮干五、あみ佃煮二〇、キャベツ三〇

中食  
チキンライス、さやいんげん玉子とし

午後間食  
鶏肉五〇、豚肉三〇、玉葱一〇、トマトケチャップ、グリーンピース、ラード、少、さやいんげん七〇、玉子三〇、醬油、砂糖、少、澤庵二〇

夕食  
小丸せんべい、オトギせんべい、四五〇、牛乳五勺  
鮎湯通し信田飯  
鮎七〇、大根柱むき、醬油、少、わさび付、推草五、油揚

## 四、日本赤十字社夏季兒童保養所

海抜六百五十米小塚臺ヶ岳を前に後に金時山を繞らして自然の海をのべた如く此處の仙石原は自然の仙郷としてその王座を占めてゐる。氣壓は七百六十平均氣壓より五十程も少く、呼吸は極めて容易で胸腔の發達を非常に助けて、氣温は亦至つて低く、華氏八十度を突破する様なことは殆んど稀だ、空気が清淨オゾンと紫外線に富み、断えざる微風は早川の清流と共に潤滑をよめぬ。而も發生期の効果百パーセントの温泉浴と環境の變化がある。登山は若かるといふ事は山の新陳代謝の妙を説いたものだ。

石小學校、日本赤十字社、奈川縣支、部仙石高、原兒童保養所、養社がある。

丁度訪問の日に仙石小學校兒童と保養所の聯合運動會があり、鉢巻雄々しく健康への躍進を物語る。

福田さんの案内で二階の養護室を一巡する、各部屋の名を神山、金時、早川、乙女、と四周に因縁つけたのは妙案である。

男兒五十名、女兒二十九名の虚弱兒が日々健康を養へつゝ、保養生活を送つてゐる、大抵は尋常科から六年まで、中には小學時代から交へてゐる、これは小學時代からつづつての仙石の保養所で夏を過して来た舊馴染であるとか、メンバーの員數は濱濱市を一番に、横須賀、川崎、平塚、小田原と云ふ順である相な。

器具其他醫療設備は赤十字社支部の主催で流石に行届いたものだ、それに今井學校衛生技師が醫療を擔任して起床から就寢まで

看護に手ぬかりなく校長の中村さん、清水さん、其他擔任の諸先生が、讀書の暇なき迄熱心周到な保護のため安心なものである。教養方針は

1 身體の養護を重視し體力の向上を圖ること  
2 團體的訓練をして共同生活になれさせること  
3 自治生活の指導をなすこと  
4 衛生に關する良習慣を養はせること  
5 團體的に規律節制を守らせること

如上の方針で、徳、體育と、環境教育、等が盛りこまれてある、やがて運動會が終つてから、晝飯には兒童達と一緒に御自慢の榮養料理を御馳走になる、今日の献立は六月十五日(火曜日)

朝食  
味汁汁附合  
赤味噌四〇、若目五、煮干五、あみ佃煮二〇、キャベツ三〇

中食  
チキンライス、さやいんげん玉子とし

## 社會教育協會 懸賞「非常時日本の教育」の當選發表

豫て社會教育協會集會中の「非常時日本の教育」懸賞論文は應募數三百廿四篇に達したので文部省普通學務局長武部欽一氏を委員長として同省督學官森岡常藏、同事務官日田權方、東京朝日新聞編輯局長緒方竹虎、大日本聯合青年團理事田澤義輔、帝國教育會理事大島正徳、同會常務理事小松謙助の六氏を委員とする審査委員會にて審査の結果七月一日、二等入賞者を左の如く決定發表した。

入賞者氏名  
一等 正賞社會教育協會賞牌 副賞金壹百五十圓  
新潟縣三條中學校校長 手塚 義明氏  
正賞社會教育協會賞牌 副賞金壹百圓  
栃木縣烏山小學校校長 高 瀨 越氏  
武部委員長の概評によると我國現時の非常時教育に對する根本的對策は「我を知るに在り」將來日本の教育は我日本の本質的のものに立還り自力的に建設せられねばならぬとする點に於ては總ての論文の主旨が期せずして一致してゐる、只我日本の本質的のものを解するに復古的と進歩的との差あるのみである。

本會直營の學習帖販賣は、初經驗のため各方面に難關を控えてゐた割合には、好成绩であつて、最初は二十三萬冊の豫想が約二十四萬に及び、其他に約一萬の献本冊數を合せて二十五萬冊を製本した。各學校最初の註文冊數と使用冊數との差が今少し軽く返本とならば、恐らく大成と言へよう、若し註文學校責任各位の親切周到の取扱がなかつたら或はより過大の損失を残したではあるまいかを思ふ。

夏季兒童學習帖の賣行  
ふと感謝せずにはゐられない次第であります。  
或學年の表紙と内部の相違した品を若干發見したので、一時心配にはなつたが、それら大部數ではなかつたらしく中には好意をもつて臨機に處置せられた向もあり、多かつたことを徳としてゐる次第である。學習帖の品質改善に關する意見は、問題の大小を問はず、喜んで受入れ活用する考へなれば奇批共に投書せられんことを望む。

本年の教員養成講習會は小學校正教員を鎌倉師範に、尋常小學校正教員を女子師範に於いて開催したが、科目は公民、修身、國漢を前者とし、教育、音楽を後者とし、何れも八月一日から二十七日迄を開期とす。

本年の會員申込状況は頗る壓倒的多數であつて現職教員に於いては五名尋正に於いて八拾名を突破したのは氣の毒であつた。此等の講習員は昨今の暑熱と闘ひながら熱心に聽講研究に従事しつゝある。

本年の會員申込状況は頗る壓倒的多數であつて現職教員に於いては五名尋正に於いて八拾名を突破したのは氣の毒であつた。此等の講習員は昨今の暑熱と闘ひながら熱心に聽講研究に従事しつゝある。

本年の會員申込状況は頗る壓倒的多數であつて現職教員に於いては五名尋正に於いて八拾名を突破したのは氣の毒であつた。此等の講習員は昨今の暑熱と闘ひながら熱心に聽講研究に従事しつゝある。

本年の會員申込状況は頗る壓倒的多數であつて現職教員に於いては五名尋正に於いて八拾名を突破したのは氣の毒であつた。此等の講習員は昨今の暑熱と闘ひながら熱心に聽講研究に従事しつゝある。

本年の會員申込状況は頗る壓倒的多數であつて現職教員に於いては五名尋正に於いて八拾名を突破したのは氣の毒であつた。此等の講習員は昨今の暑熱と闘ひながら熱心に聽講研究に従事しつゝある。

本年の會員申込状況は頗る壓倒的多數であつて現職教員に於いては五名尋正に於いて八拾名を突破したのは氣の毒であつた。此等の講習員は昨今の暑熱と闘ひながら熱心に聽講研究に従事しつゝある。



會動運合聯所養保期夏十赤本日と童兒校學小石仙

## お断り

八年度「學事關係職員録」は品切につき御註文お断り申上候

神奈川縣教育會



詩

山田生

夏日偶成壬申辭職

川崎市校長諸君  
招飲賦供祭

舊友佳招情若春。十年交誼更  
加新。謝君何曾酒香美。洗盡  
胸中萬斛塵

櫻花之節訪友人  
於東都街頭有作

陌頭風暖柳條斜。短袴輕裝來  
往加。墨水東臺將品海。滿都  
氣麗入櫻花。

潮田閑居

柳條垂綠掩柴門。花木雜然充  
小園。騷客不來無鳥語。黃塵  
堆裏別乾坤。

家雖無著幸藏書。讀去讀來娛  
有餘。更喜清風與明月。滿懷  
涼味在庭除。

友松會員積田享三と

保 險 業

不肖積田は數年前知人の御勧めにより社會匡救の目  
的に合致した保險事業に興味を持ちこの普及化によ  
り報國の志を立てまして只今

明治生命保險株式會社  
共同火災保險株式會社 の代理店

を引受け

神奈川縣友松會館内 (神奈川區平沼町三丁目)

に設置しました

これにより皆様の御後援の下に

生命保險。火災保險。は申すに及ばず近來

一般に實用化して参りました

傷 害 保 險。

をも御懇切御便宜に御奉仕努め度いと存じます多少  
に不拘御一報御願ひ致しますれば早速参上の上尤も  
御有利に御相談申し上げ度い覺悟で御座います

何卒皆様の保險相談所として積田商會保險部の御利  
用を特に御勧め且つ御願致し度いと希望して止まな  
いのでありますと

積 田 商 會

第五回貿易夏期大學日程表

一、講 議

日時 五時—七時 七時—九時

廿六日 賣 買 の 要 諦  
横濱貿易協會會頭 上甲信弘氏

廿七日 生糸と人絹の關係  
横濱貿易新報編輯局長 森本 宋氏

廿八日 日滿經濟關係に就て  
拓務政務次官 堤 康次郎氏

廿九日 我外國貿易の現況  
商政工務次官 岩切重雄氏

卅日 世界海運界の現狀  
國際汽船株式會社 黒川新次郎氏

日印通商條約廢棄と日英關係  
横濱貿易協會主事 齋藤 眞氏

外國貿易と國際通信  
日本無線電信會社 山下智二郎氏

外國爲替管理法に就て  
大藏省外國爲替 原口武夫氏

港 灣 の 經 營  
東神倉庫横濱支店長 清崎昌雄氏

横濱正金銀行及手形交換所  
市中區南仲通五丁目

輸出産業展覽會  
市中區日本大通り

輸出絹織物検査所  
市中區山下町

横濱 取引 所  
市中區本町通三丁目

横濱税關及同埠頭  
市中區中區港町

横濱内貿地帯及中央市場  
市中區神奈川區山内町

川崎市滿鐵埠頭  
川崎市扇町

麒麟ビール會社工場  
市内鶴見區生麥町

備 考

一、見學及聽講にはなるべく洋服を便利とします、和服の方は是非草履の用意を願ひます。

二、見學は毎朝八時に本會へ集合、聽講は毎夕四時五十分迄に御來會下さい。

三、卅日の見學は天候に支障ない限り汽艇を用ひますから乗遅れない様願ひます。

四、見學聽講の際は係員の指揮に従ひ、疑問の點は御遠慮なく御申出下さい。

社 團 横 濱 貿 易 協 會

全國小學校代表  
綴り方を募る

締切 九月廿五日

主 旨

文は人なりと云ひます、作文の獎勵が人を造り上げる教育に必須な所以であります、而して觀念を正しく、生き／＼と表現する練習は文字を初めて知つた小學時代から初められなければなりません、正しき文辭は邪なる思想を受けたいとも云へませう然るに小學教育に於ける綴り方の重要性は近年著しく閉却されて居ることは掩ひ得ない事實であります、昨年時事新報社が重賞をかけて國旗に關する綴り方を全國の小學生から又同じ作文を中等學生から募集したのは斯くて次代の國民に依つて忘れられ勝ちの國語の魅力を恢復せんとする微意に外ならないのであります、その實際經驗に鑑みて小學生の綴り方を競争募集する年中行事を創設したのは此教育奉仕の事業が永久繼續の價値あり必要あるを痛感した結果であります、

一、課 題 「博愛心」

一、應募條件 各小學校を應募單位とし全學年を左の如く三分しA、B、Cの各クラスに就き全校代表各十篇づゝを小學校長より提出するものとす

一、申込方法

申込みの場合は學校名、所在地、學校長名、児童住所、學年、氏名、年齢を別紙に明記し綴り方原稿の上に綴り付けること

一、締 切

九月廿五日

一、表彰方法

一等 BAクラス(一人) 児童 二百圓 當該學校 一百圓  
二等 BAクラス(一人) 児童 同 同 同 同  
三等 BAクラス(一人) 児童 同 同 同 同

一、審査員

目下詮衡中

主 催

時事新報社